

## ✿ 解説ボランティアの10年

平城宮跡が世界文化遺産に登録された翌1999（平成10）年の10月に、奈良文化財研究所の解説ボランティア事業は開始されました。

当時、平城宮跡を訪れる人から解説を望む声が多く寄せられていたことと同時に、研究所としても調査の成果を広く発信したいという思いから、設置が実現したものです。

当初、ボランティアの人数は50名からのスタートを計画していましたが、募集してみると260名を越える応募があり、驚きながら抽選をおこない、89名の方々を一期生としてお迎えしたのです。

あれから10年。その後、3回の募集を重ね、現在51歳から80歳まで128名のボランティアが平城宮跡の各施設を中心に活動しています。今では知識も経験もすっかり円熟され、みなさんそれぞれの個性あふれる解説は、平城宮跡を訪れる人たちにとって、なくてはならないものとなっています。

この10年間の活動に敬意を表して、この6月4日には青木文化庁長官（当時）から感謝状が贈呈されました。勤勉なボランティアのみなさんの熱意と、訪れる人々への思いやりに支えられて継続してきた事業を、研究所も大切に発展させていかなければなりません。

さて、11年目となる2010年は、ちょうど平城遷都1300年祭が開催される年に当たり、まさに大きな節目です。「定点ガイド」として参加する1300年祭「平城宮跡探訪ツアー事業」に備え、現在、研修をおこなっているところです。

ますます期待が高まり、忙しくなる解説活動ですが、健康にはくれぐれも注意していただいて、次の活動日も元気に平城宮跡へお越しくくださることを願っています。

（管理部 永井 あつ子）



青木長官からの感謝状贈呈式（平城宮跡資料館講堂）